

業務の名称	令和5年度 東京国際空港空港アクセス鉄道駅舎改築部他躯体築造工事に係る技術協力業務
業務概要	計画準備、協議・報告、技術協力業務（技術提案の技術情報等の提出、その他の技術情報等の提出、設計調整協議、設計の確認、施工計画の作成、全体工事費の算出、関係機関との協議資料作成支援）、報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局副局長 衛藤 謙介 神奈川県横浜市中区北仲通 5-57
契約年月日	令和5年8月29日
契約業者名	大成・五洋・京急特定建設工事共同企業体 代表者 大成建設株式会社 東京支店
契約業者の住所	東京都新宿区西新宿 6-8-1
契約金額	10,450,000 円（税込み）
予定価格	10,857,000 円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>「東京国際空港空港アクセス鉄道駅舎改築部他躯体築造工事」は、第4バスプールにおいて開削工法により既存駅舎の一部を撤去しつつ新たな駅舎躯体を築造するとともに、非開削工法により鉄道トンネル躯体の一部を築造するものである。</p> <p>本工事は、京急駅舎やモノレール駅舎、共同溝、P3駐車場、スカイアーチ橋梁基礎といった既設構造物との近接施工となるため、工事によるこれら近接構造物への影響を最小化する必要がある。</p> <p>また、本工事は、通路や階段の機能を確保しながら、既存の駅舎や階段の躯体を撤去するとともに、これらの周囲を掘削し、新たな駅舎や階段の躯体を築造する必要があり、複雑な施工となる。このため、施工方法等によって施工期間やコストが大きく変動する可能性がある。</p> <p>さらに、施工箇所は軟弱かつ複雑な地盤であるため、地盤改良の確実な施工をはじめ、様々な施工リスクへの対応も必要である。</p> <p>以上のように本工事は技術的難易度が高く、詳細設計において施工者の高度で専門的な知見を活用する必要があることから、技術提案・交渉方式の技術協力・施工タイプを適用し、躯体築造工事に関する技術提案を求めた。</p> <p>選定にあたっては、「①近接構造物への影響の最小化に有効な施工方法の提案」、「②施工期間の短縮に有効な施工方法・手順・体制の提案」、「③施工リスクを踏まえた工事の全体コスト縮減に有効な施工方法・手順・体制の提案」及び「技術協力業務に関する実施方針」について、技術提案書を審査した結果、事業目的達成のために総合的に評価の高い技術提案を行った大成・五洋・京急特定建設工事共同企業体を優先交渉権者として選定したものである。</p> <p>本業務は、優先交渉権者の技術提案を詳細設計に反映させるための技術協</p>

	力業務であり、大成・五洋・京急特定建設工事共同企業体が業務の履行が可能な唯一の者である。よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項の規定に基づき大成・五洋・京急特定建設工事共同企業体と随意契約を行うものである。
業務場所	—
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和 5 年 8 月 29 日
履行期間（至）	令和 6 年 3 月 8 日
備考	